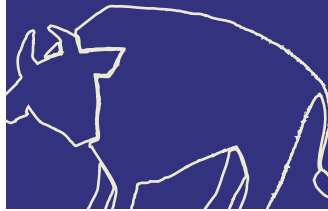


# 第5回 神戸市場系統農協枝肉共励会にて、JA宮崎経済連が団体賞を獲得



第5回神戸市場系統農協肉牛枝肉共励会が平成16年7月14日(水)に神戸市場にて開催され、JA宮崎経済連が団体賞を獲得しました。

この共励会には1道7県から計48頭が出品され、本県(JAこばやし管内)から6頭を出品しました。その出品牛の6頭中5頭がA5と大変優秀な成績であり、高原町の山下輝夫さんが優秀賞(3席)に輝きました。

購買者からは、宮崎の枝肉について、肉量・肉質ともに良いという評価を得ているようでした。

出品牛に共通していることは、子牛育成期間の飼料には「ひとりだち」、肥育期間は「しもふり特号、(雌仕上用)」が給与されていることでした。

出品No.	農協名	出荷者名	性別	血統			生年月日	枝肉重量(kg)	ロース芯(cm <sup>2</sup> )	バラ厚(mm)	皮下脂肪(mm)	BMS	等級	単価(円)	販売金額(千円)
				父	母の父	母の祖父									
37	こばやし	末永長幸	雌	福桜	安平	隆桜	H13.12.12	414.0	84	85	23	12	A5	3,115	1,290
38	こばやし	御池肥育センター	雌	照萩	安平	隆桜	H13.12.10	453.2	59	84	27	8	A5	2,205	999
39	こばやし	御池肥育センター	雌	安平	隆桜	紋次郎	H13.12.20	353.0	64	75	17	8	A5	2,465	870
40	こばやし	御池肥育センター	雌	上福	安平	糸弘2	H14.1.21	412.6	47	82	42	4	A3	1,830	755
41	こばやし	山下輝夫	雌	安平	上福	紋次郎	H13.11.13	371.8	56	67	26	10	A5	2,960	1,101
42	こばやし	山下輝夫	雌	安平	糸秀	糸弘2	H13.12.10	415.4	63	80	36	9	A5	2,500	1,039
JA宮崎経済連 6頭平均値								403.3	62	79	29	8.5		2,513	1,009
全体平均 (去勢24頭、雌24頭)								431.3	57	78	26	6.7		2,093	899
JA熊本経済連 (去勢6頭、雌0頭)								480.2	60	84	27	3.8		2,164	1,040
JA佐賀経済連 (去勢1頭、雌5頭)								429.8	61	77	24	4.2		2,128	913
JA全農 徳島県本部 (去勢4頭、雌2頭)								411.8	57	72	24	3.8		1,983	813
JAホクレン (去勢6頭、雌0頭)								481.2	57	81	25	3.8		1,818	875
JA全農 鳥取畜産 (去勢2頭、雌4頭)								402.1	55	75	27	4.0		2,148	869
JA全農 長野県本部 (去勢0頭、雌6頭)								370.9	52	75	27	4.5		2,090	777
JA全農 大分県本部 (去勢5頭、雌1頭)								471.2	55	79	29	4.0		1,902	896

# JA宮崎経済連和牛枝肉共進会を開催

～太陽と緑の大地で育ったよか牛を全国に！～

JA宮崎経済連和牛枝肉共進会を平成16年6月24日(木)、(株)ミヤチク高崎工場で開催しました。共進会には県内より選抜された103頭が出品され、JA宮崎中央肥育牛部会の川越忠次さん(46)がグランドチャンピオンに輝き、その後のセリで1キロ当たり4,990円(219万8千円)と高値取引されました。今回と前回(平成16年2月)の平均値を比較すると、枝肉重量やロース芯面積はほぼ変わりませんが、バラの厚さや皮下脂肪がやや薄く、また、肉質等級についてもA5が10頭(9.7%)、A4が58頭(56.3%)と前回の上物率73%と比較して7ポイントほど下回る結果になりました。



▲グランドチャンピオン牛枝肉断面

入賞	農協名	出荷者名	性別	血統			生年月日	生体重量	DG	枝肉重量	ロース芯面積 (cm <sup>2</sup> )	バラ厚 (mm)	皮下脂肪 (mm)	BMS	等級	単価 (円)	販売金額 (千円)
				父	母の父	母の祖父											
グランドチャンピオン	宮崎中央	川越忠次	去勢	安平	隆桜	第20平茂	H14.1.24	702	0.66	440.4	66	79	25	10	A5	4,990	2,198
2席	延岡	木村 劭	去勢	安平	隆桜	糸秀	H14.1.21	723	0.74	485.0	54	85	28	8	A5	4,200	2,037
3席	西都	黒木輝也	去勢	安平	福桜	第20平茂	H14.1.15	726	0.76	467.6	59	77	28	8	A5	4,000	1,870
4席	はまゆう	武田進一	去勢	上福	安平	隆桜	H13.10.18	747	0.71	473.9	69	76	22	8	A5	3,600	1,706
5席	都城	別納軍一	去勢	福桜	安平	糸秀	H13.10.19	684	0.59	424.9	53	74	25	8	A5	3,990	1,695
6席	こばやし	小田孝一	去勢	安平	隆桜	糸秀	H14.1.14	710	0.73	449.6	70	73	22	8	A5	3,400	1,529
7席	家畜改良事業団		雌	照菽	安平	隆桜	H13.12.20	755	0.78	480.2	66	75	33	8	A5	3,000	1,441
103頭平均値								718	0.75	463.2	59	78	27	5.3		2,622	1,215
第102回(平成16年2月開催)の平均値								717	0.72	463.3	60	81	30	5.7		2,470	1,147

## 頑張る高校生!

### 家畜審査競技会開催される!

去る6月24日、都城農業高等学校をメイン会場として、「届けみんなの心、輝けみんなの言葉、農業の力 都城の大空に」「広い盆地に水と風、今都城の大地に集まれ農クの力」の二つのスローガンのもとに第55回宮崎県学校農業クラブ連盟大会が開催されました。

その中で家畜審査競技会は、都城地域家畜市場で行われ、県内の農業高等学校から黒毛和種の部に60名、ホルスタイン種の部に35名が参加され、これまで培ってきた審査技術を競いました。黒毛和種の審査競技においては、毛、



▲審査風景

前軀、尻の三部位の序列並びに総

合評価の序列について出題があり、生徒たちは熱い眼差しで4頭の牛を何度も何度も比較し、手のひらの感触を1頭1頭確かめながら熱心に取り組んでいました。競技の結果、黒毛和種の部は高鍋農業高等学校の牧野恭三君が第1位に輝きました。審査の後、牧野君は「信じられなかった、嬉しいです。今後もっと努力して牛を見る眼を身につけたいです。」と力強く語ってくれました。

本審査競技会に参加した生徒の皆さんは勿論のこと、農業クラブに参加している生徒の皆さんは、本県農業の頼もしき人材であります。大会事務局長の加藤研悟校長先生(都城農業高等学校)の言葉にありましたように、「やればできる自信」、「やれた誇り」、「活きる力」を会得され、今後大きく飛躍されることを熱望致します。



▲審査風景

## 国富町畜産団地 完成!



▲外観

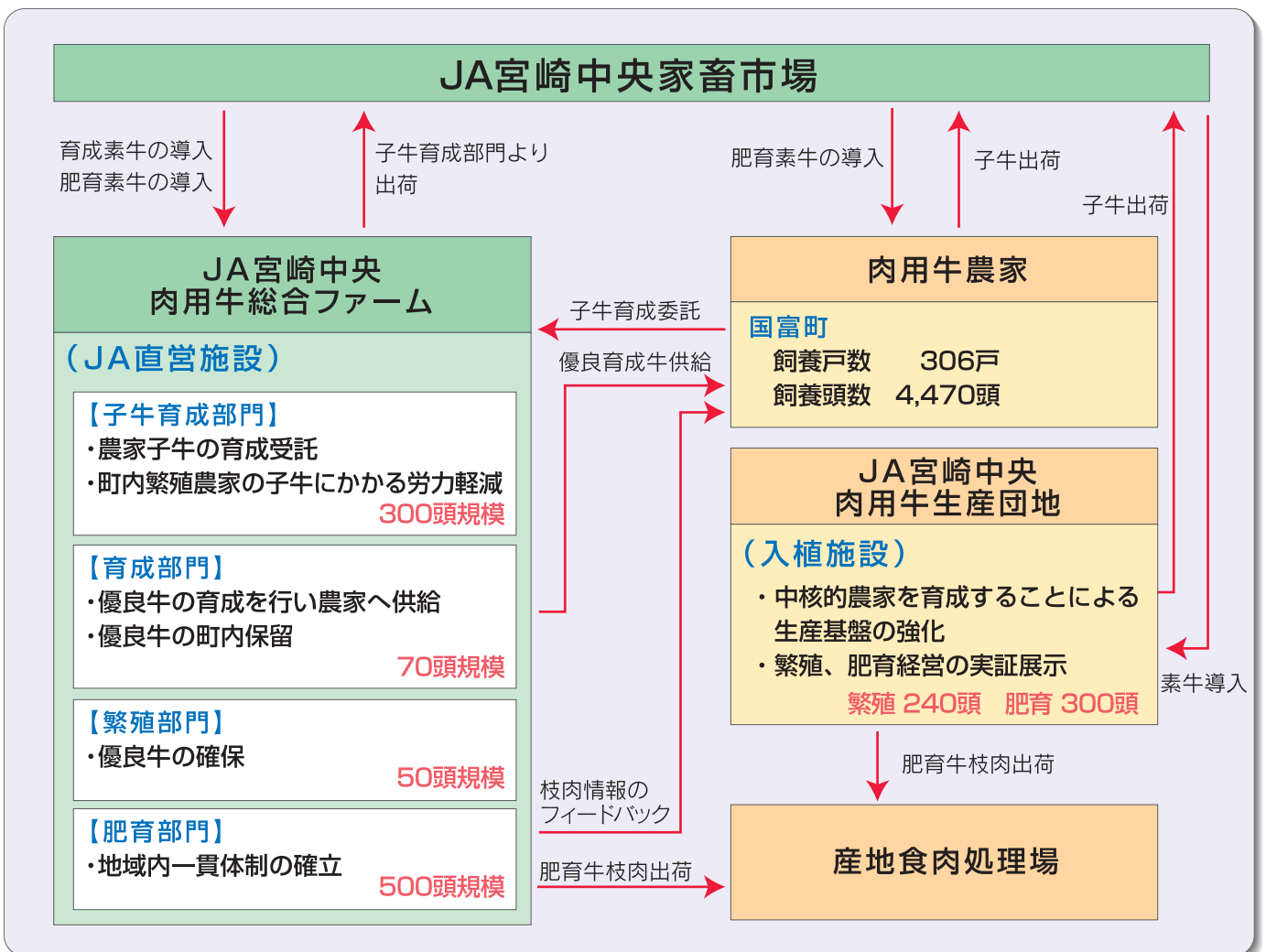
▼中の様子



JA宮崎中央が、肉用牛の地域内一貫生産体制の確立を目指し、3か年の事業で整備を進めてきた畜産団地が、本年3月に国富町大字八代に完成した。

この団地は「JA宮崎中央肉用牛総合ファーム(JA直営施設)」と「JA宮崎中央肉用牛生産団地(入植施設)」から構成され、それぞれ、育成牛供給及び子牛の共同育成並びに一貫体制確立のための肥育実証、入植による専業農家育成を目的として、整備されたものである。

JAでは、今後も一層、地域肉用牛の生産基盤安定化を図っていききたいとしている。



# 児湯畜連が電子体高計を導入!

～一層の改良増殖を図る～



▲セリ伝票にも記載

▼セリ時に電光掲示板表示

児湯畜連では、地域内における一層の改良増殖を図るため、本年3月に電子体高計を導入、子牛がセリに出場する際に測定を行い、結果データを購買者及び生産者に提供、好評を得ている。

測定結果は、繁殖牛並びに肥育牛の基礎データとして電光掲示板に表示するとともに、体高及び発育推定値を伝票に記載することで、活用を図っている。

畜連では、今後とも「質と増体」の向上に重点をおいた改良増殖を推し進めたいとしている。



## 平成16年度マル緊事業について

### ～肉用牛肥育経営安定対策事業～

本事業は、平成16年度から第2業務対象年間となり、1頭当たり積み立て額、最高補てん額の見直し、対象品種に外国種が追加されるなどの変更がありましたので、内容の紹介をいたします。

#### ① 事業の目的

肉用牛肥育経営の安定を図るため、生産者の抛出と国の助成により基金を造成し、収益性が悪化したときに家族労働費を補てんする。

#### ② 事業内容

肥育牛1頭当たりの推定所得が平均家族労働費を下回った場合に、その水準に応じて四半期ごとに肥育牛生産者に補てん金を交付する。

- 1) 抛割割合 生産者・県費：国＝1：3
- 2) 事業実施期間 平成16年度～平成18年度（3年間）
- 3) 発動基準 地域の直近3カ年の平均家族労働費
- 4) 補てん割合 基準家族労働費と四半期平均推定所得との差額の8割
- 5) 対象品種 肉専用種、交雑種、乳用種、一産取り、外国種

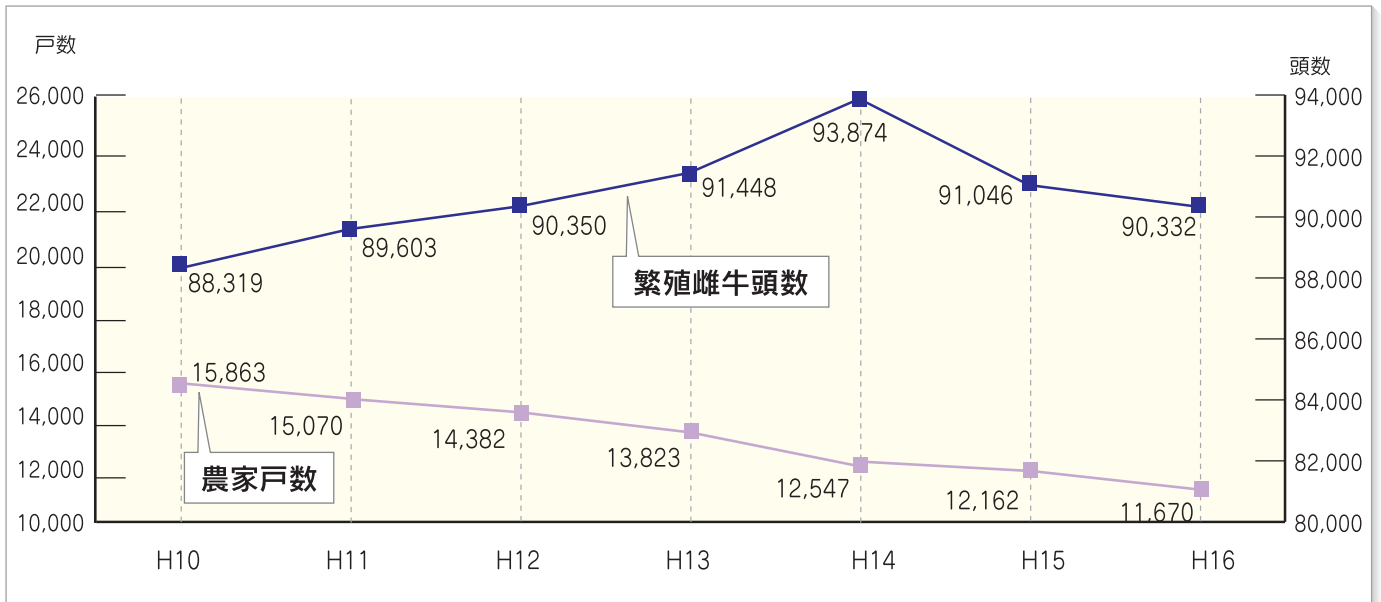
#### ③ 最高補てん金額並びに積立金の内訳(平成16年1月～平成18年12月)

単位:円

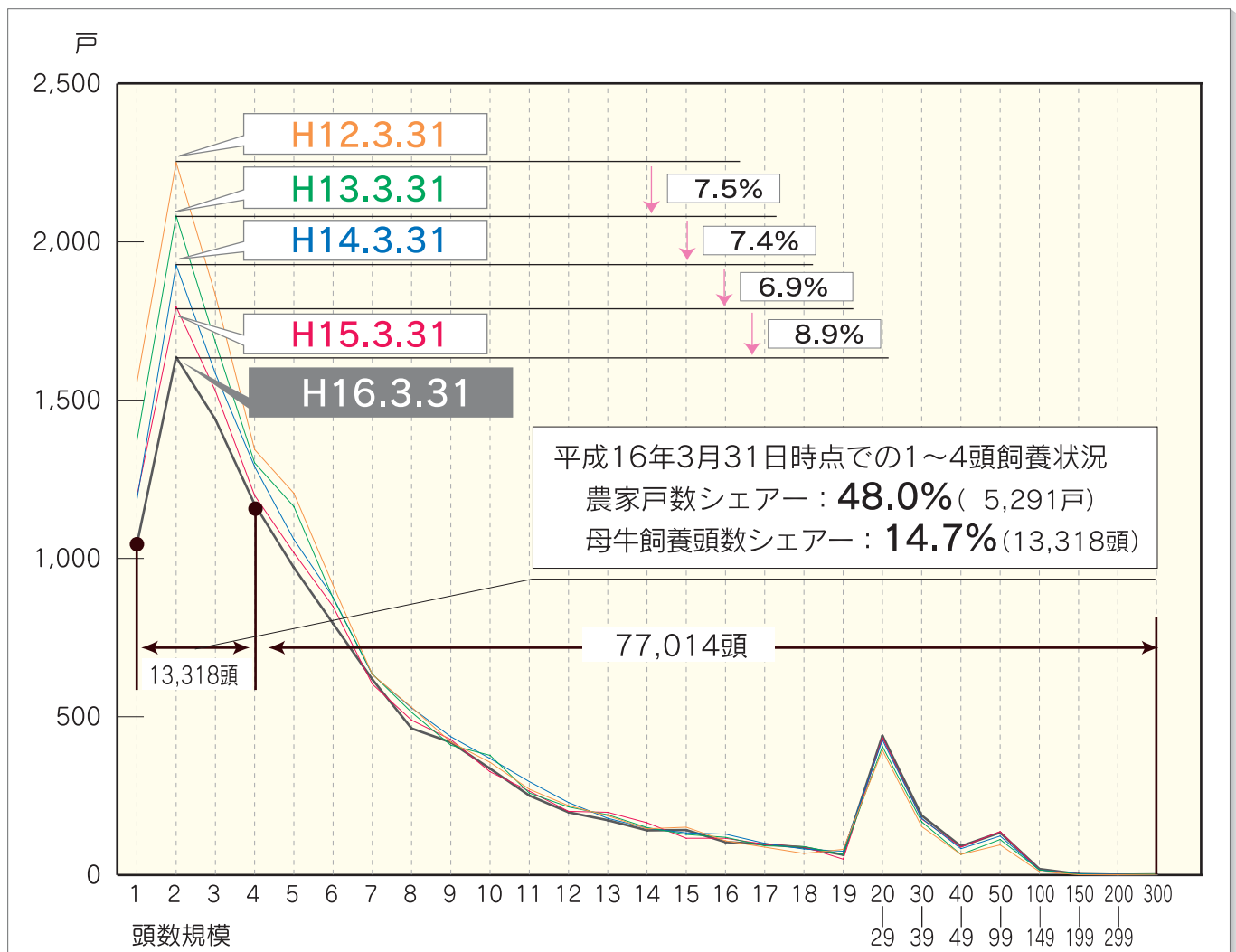
区分	基準家族労働費	最高補てん金	生産者積立金	県費助成金	国(中央畜産会)	1頭当たり積立額
肉専用種	72,968	58,300	9,100	1,200	30,900	41,200
交雑種	39,918	31,900	3,400	500	11,700	15,600
乳用種	42,445	25,900	5,200	700	17,700	23,600
一産取り	52,698	42,100	6,200	1,200	22,200	29,600
外国種	39,918	31,900	3,400	500	11,700	15,600
負担割合	—	—	1/4		3/4	—

注) 1 対象牛は、平成16年1月1日以降の積立金納入牛。

## 宮崎県の繁殖農家戸数と母牛頭数の推移 (子牛生産拡大奨励事業3月31日調査より)



## 母牛飼養頭数規模別戸数の推移



注) 戸数、頭数共に、調査時点は各年3月31日時点 (子牛生産拡大奨励事業データから) とする。